

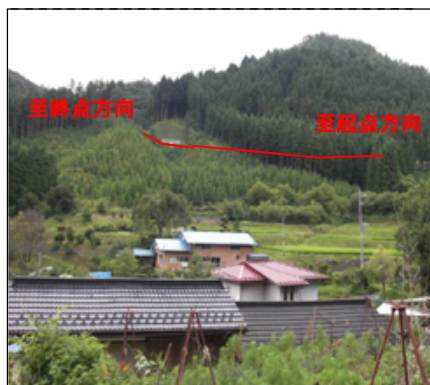
第5号議案

農山漁村地域整備交付金事業

かつまやません
吾嬭山線なかのじょうまち ながのはらまち ひがしあがつままち
中之条町、長野原町、東吾妻町着工年度
評価理由平成5年度
再評価後5年経過

1. 事業の目的

- ・中之条町、東吾妻町、長野原町の恵まれた森林地域の骨格的林道の整備を行い本路線の利用区域4,062haの78%を占める人工林等の森林整備を促進する。
- ・周辺集落の生活基盤整備及び集落間の相互を連絡し、山村地域の路網形成を図る。



2. 事業概要と進捗状況

事業概要

事業場所	なかのじょうまち おおあざ しもさわたり 中之条町大字下沢渡 ~ 中之条町大字入山	
区分	今回	前回再評価時(H20)
全体事業費	8,612百万円	8,612百万円
全体事業費増減の理由		一部路線の見直し
事業期間	H5~H35	H5~H35
事業内容	道路延長 45,880m 幅員 5m	道路延長 45,880m 幅員 5m

事業経緯

進捗状況

年度	主な経緯	全体計画	現在の進捗状況(進捗率)	前回評価時の進捗状況(進捗率)
H5	全体計画調査	8,612百万円	5,336百万円 (62.0%)	3,539百万円 (41.1%)
H6	工事着工			
H13	計画変更	45,880m	25,020m (54.5%)	16,372m (35.7%)

2. 事業概要と進捗状況(図面・写真等)



事業期間	延長 (m)	事業費 (千円)	利用区域面積 (ha)	利用区域面積 累計 (ha)	森林整備 実施面積 (ha)	備考	凡 例		
							利用区域		
H5~H9	3,035	1,053,600	267.2	267.2			利用区域	黄色	
H10~H14	5,763	1,481,000	740.7	1,007.9	141.5		完成 区間	H5~H9	黒色
H15~H19	7,574	1,316,800	886.1	1,894.0	444.3			H10~H14	緑色
H20~H24	8,648	1,484,180	681.3	2,575.3	683.2			H15~H19	青色
H25~H29	12,178	2,463,620	1,056.0	3,631.3				H20~H24	紫色
H30~H35	8,682	812,800	611.7	4,243.0			未完成 区間	H25~H29	赤色
計	45,880	8,612,000	4,243.0		1,269.0			H30~H35	黄色
							国有林	灰色	

- ・H5~H9 : 点在する地元集落の利便性を高めるため、起点、終点、中間部それぞれのアクセス道路から工事に着手(4工区)。
- ・H10~H14 : 前期に引き続き、集落間を結ぶ工区を優先的に実施。
また、平成13年度には全体計画を変更し、連絡線形となる既設林道を取り込むことによりコスト縮減を図った。
- ・H15~H19 : 既設町道等と連絡し、地域道路網としての機能を発揮させるため、区間①、②を優先区間として事業を進めた。
- ・H20~H24 : 前期に引き続き、区間①、②を優先区間とし、重点的に事業を実施(6工区)。
- ・H25~H29 : 今後は、優先区間①、②の工事を最優先として進め、今期中に連絡線形として完成させ、また進捗率を上げるため、既設町道5290号をアクセス道として、更に工事着手数を増やし、早期全線開通を目指す。
- ・H30~H35 : 前年に引き続き工事を進め、最終期間として早期全線開通を目指す。

3. 事業の目的・必要性に変化はあるのか？

- ・当該地域の路網整備の必要性に変化はない。水源の涵養、災害防止、温暖化防止機能等森林の持つ公益的機能を高度に発揮させるため路網整備を促進し効率的に管理や整備を行う必要がある。
- ・現在の完成区域では、森林整備及び生活道としても利用されている。



4. 目的を達成するための事業(手段)は適当か？

- ・吾嬭山線は広大な森林の活用と中之条町・東吾妻町・長野原町を連絡し、山村地域の活性化や生活道として期待されており、安全確保の面から作業道による代替は不可能である。
- ・ハツ場ダム関連道路等の整備と調整を図りながら進めているとともに間伐等の森林整備面積は前回の444haに対し683ha(1.5倍)実施されている。



費用便益分析

		計画・前回再評価時		今回再評価時		備考	便益説明
算出根拠マニュアル		林野公共事業における事前評価の手引き		林野庁公共事業における事前評価マニュアル			
基準年		平成19年度		平成24年度			
区分	項目	現在価値	構成比	現在価値	構成比		
費用 (千円)	工事費	8,518,859	99.5%	10,310,417	99.0%		
	維持管理費	46,109	0.5%	106,935	1.0%		
費用合計 (C)		8,564,968		10,417,352			
便益 (千円)	木材生産等便益	8,174,134	43.7%	9,428,716	59.8%	木材生産等の経費縮減や木材の利用・生産増進便益	
	森林整備経費縮減便益	3,771,099	20.1%	965,998	6.1%	森林管理の経費縮減便益	
	森林の公益的便益	5,195,555	27.7%	3,533,672	22.4%	森林の公益的機能の維持増進便益	
	森林の総合利用山村振興便益	1,589,822	8.5%	1,846,433	11.7%	林業従事者の就労機会の確保や森林利用増進便益	
便益合計 (B)		18,730,610		15,774,819			
費用対効果分析 (B/C)		2.19		1.51			

5. 事業が長期間要している理由は？

【 元々が長期計画 】

不測の事態により長期化 】

全体計画延長が約46kmと長大であり、5工区により工事を行っているが、公共事業費の縮減や年間工事量に限界があり、長期計画となっている。



6. 事業の対応方針は？

事業継続

事業中止

変更なし

・ 事業計画の変更 ・ スケジュールの変更

事業概要位置図のとおり、優先区間2箇所(①中之条町～東吾妻町、②東吾妻町～旧六合村)の工事を優先的に進め、既設道路間を連絡し、完成路線として活用することが、山村地域の道路網として有効と考えている。

現在の進捗状況は、やや遅れ気味であるが、優先区間①②は平成28年度に連絡予定となっている。

今後は、優先区間①②を最優先に進めるとともに、町道5290号が開設されたことにより、未整備区間③④延長約14kmの整備が4工区での着手が可能となったため、早期に着手し35年度の全線開通を目指す。

長期間の事業となっているが、関係3町村及び吾嬭山線推進協議会から、全線開通の強い要望があり、森林整備のための骨格的路線であり、山村地域の道路網としても必要な路線であることから、事業継続は妥当である。